

## 題名：大型転移性脳腫瘍に対するガンマナイフ治療を受けた患者さんへ

当院では、下記の臨床研究を当院倫理委員会の審査を経て病院長の許可のもと行っています。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、あなたの診療情報や検査などで残った検体の下記の研究への利用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして研究に利用させていただきます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用するまたは提供されることを希望されない場合、また研究に関する質問等ございましたら、下記に記載している問合せ先へご連絡下さい。利用を希望されないことが今後の診療に何らかの影響を与えることは一切ありません。

研究課題名 (承認番号)	大型転移性脳腫瘍に対するガンマナイフ治療の照射法別治療成績（多施設共同後ろ向き研究による実態調査）
当院の研究責任者 (所属)	笹目 丈 （脳神経外科）
他の研究機関および 各施設の研究責任者	NTT 東日本関東病院 ガンマナイフセンター 河島 真理子
本研究の目的	転移性脳腫瘍は全がん患者の約 10～20%に発生し、神経症状を引き起こして患者の生活の質を低下させる重要な臨床課題です。ガンマナイフによる定位放射線治療は高い有効性を示してきましたが、腫瘍体積が 4 cm <sup>3</sup> を超えるような大型病変では、単回照射による局所制御に限界があり、放射線壊死のリスクも問題となります。これに対し、段階的照射や分割照射といった新しい照射法が導入され、臨床的な有用性が報告されていますが、多施設・大規模な検証は十分ではありません。 本研究では、4 cm <sup>3</sup> を超える大型転移性脳腫瘍に対するガンマナイフ治療（単回照射、段階的照射、分割照射）について、多施設共同後ろ向き研究によりその有効性と安全性を明らかにすることを目的としています。さらに、分割照射における最適な分割回数や処方線量を検討し、治療法の標準化と将来的な前向き臨床試験につながる基礎データを提供することを目指します。
研究の方法 (利用する試料・情報)	4 cm <sup>3</sup> を超える大型の転移性脳腫瘍に対して、当院でガンマナイフ治療を行った患者さんが対象となります。これまでの診療でカルテに記載されている臨床情報、画像検査などのデータを収集して行う研究です。そのため、患者さんに新たにご負担いただくことはありません。 研究実施期間：2025 年 7 月～2027 年 7 月
利用する試料・情報の 該当期間	2016 年 1 月～2024 年 12 月
試料・情報の他の 研究機関への提供 および提供方法	本研究では、新たに試料を採取することはありません。診療の記録や画像データをもとに必要な情報を取り出し、匿名化したうえで研究事務局（NTT 東日本関東病院）に送ります。提供はパスワード付きの電子ファイルなど、安全な

	方法で行います。集められた情報は研究事務局で整理され、研究目的に沿って解析されます。
個人情報の取り扱い	利用する試料・情報から、氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除いたします。研究成果は学会等による発表や論文報告を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は一切利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話：045-474-8111(代表) メールアドレス：joe330kamakura@gmail.com 担当者：笹目 丈 (所属：) 横浜労災病院 脳神経外科
備考	